

学級活動（２）学習指導案

廿日市市立四季が丘小学校

教諭 二野宮加代子

- 1 学 年 第5学年3組 27人
- 2 日 時 平成24年1月11日（水）第2校時
- 3 題 材 5年3組をよりよいクラスにするために
—学級目標を振り返ろう—
- 4 児童の実態と題材設定の理由

本題材は、年間指導計画にある「学級目標についての振り返り」の内容を深めるためのものである。学級目標は児童の目指す姿である。そして、その目標は児童に意識されてこそ、その真価を発揮する。年度途中に学級目標を振り返ることは、目標を児童に意識付けることになり、目標に対する成果と課題も明確になる。その課題をもとに比較的短期で達成できる具体的な活動目標を設定する。この短期の活動目標実現を積み重ねていくことが、児童の目指す学級目標に近付けると思われる。このように学級目標と関連付けて活動目標を設定し、児童全員が活動目標を共通に意識できる活動を行うことで成果への自信をもち、新たな課題を見付けることができると考える。そして、課題を基に自分たちで次の活動目標を設定し、実践しようとする中で、学級目標に迫っている実感をもてることになると考える。

本学級には、児童の実態を踏まえ、学校教育目標を具体化するために教師が設定した「高学年の自覚と行動、しっかり考え表現しよう」という学年目標と、年度当初に学級の児童全体で話し合って決めた「元気で明るく男女仲よしクラス」という学級目標がある。この学年・学級目標は教室の後ろに掲示し、いつでも見えるようにしている。また、本学級の児童は1学期から、学級全員で活動目標を立て、話し合い活動や集会活動を進めてきた。しかし、何のためにこの活動をしているのかという目的意識を明確に自覚できていなかったり、集会活動でも、自主的な運営ができずに教師に頼ったりする児童の実態が見られた。これは、学年・学級目標と関連付けて活動の必要性を理解させたり、活動目標について共通理解を図ったりすることが十分でなかったことが原因と思われる。

指導に当たっては、事前の活動において、まず、学年・学級目標を具体的な行動で振り返らせ、実態調査した結果を提示しながら学級全体として良い点、問題点を共有させる。次に、今自分たちの学級に差し迫った問題は何であるか、学級全体で取り組んで解決できる問題かという視点で問題の焦点化を図ることにより、具体的な活動目標を設定する。そして、活動目標を達成するにはどのような取組をしたらよいかを話し合わせる。活動としては、小集団でまず考え、その後全員で話し合い、目標に近づく活動を発案させていく。自分の考えをもち、意見を出し合い、折り合いをつけて決定するという集団で思考する過程を通して、活動目標を共通に意識させることができると考える。それから議題について話し合い、実践し、振り返りを行う。振り返りでは活動目標が達成できたかを自己評価を中心に相互評価、教師による評価で行い、成果をし

っかり認めることで、達成感や充実感を味わわせ、自信をもたせるようにする。そして、目的である学級目標に近付けたか、もっと近付くにはどのようにしたらよいかを考えさせることにより、新たな活動目標を設定できるようにする。

5 評価規準

	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活について の知識・理解
評価 規 準	・学級の実態のアンケートから学級の問題に気付いている。 ・自主的に計画づくりに取り組むなど、友達と協力してよりよい生活をつくろうとしている。	・学級の課題について話し合い、よりよい解決方法（取組）について考え、判断している。 ・話し合いの内容や提案理由を考えながら、自分の意見を持ち、話し合っている。 ・目的を意識しながら、実践している。	・学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効果的な進め方について理解している。 ・みんなでよりよい学級をつくることの意義を理解している。

6 活動と指導の見通し

	活動過程	活動内容	予定	指導上の留意点・資料	評価規準
事前	・学級目標の振り返り	・題材を知る。 ・アンケート調査を実施する。	12月21日 (水) 帰りの会	・学級の児童の状況を自己評価、他者評価により確認する。 ・その後、教師が結果をまとめる。	・学級の実態のアンケートから学級の問題に気付いている。 【関心・意欲・態度】 (アンケート調査)
本時	・問題点を明らかにする。 ・具体的な活動目標を設定する。 ・活動目標を達成するための議題提案(解決方法	・学級の問題点を焦点化し、活動目標を決める。 ・活動目標達成のための取組を考える。	1月11日 (水) 第2校時	本時の展開 参照	・学級の課題について話し合い、よりよい解決方法（取組）について考え、判断している。 【思考・判断・実践】 (児童観察・ワークシート)

事後	・話し合い ・実践	・計画委員会との打ち合わせ ①議題についての柱を決める。 ②原案プリントを作成する。 ・原案プリントへの書き込み	1月12日 (木) 大休憩 1月16日 (月) 朝の会	・議題についての柱を計画委員会の児童と共に決定する。 ・提案者に原案プリントを作成させる。	・自主的に計画づくりに取り組むなど、友達と協力してよりよい生活をつくろうとしている。 【関心・意欲・態度】 (児童観察・原案プリント)
		・計画委員会との打ち合わせ(本時の流れを見通す) ・話し合い活動	1月16日 (月) 大休憩 1月17日 (火) 第5校時	・学級会で自信をもって意見が言えるように原案プリントに質問や意見を書き込ませる。 ・書き込みをした原案プリントは、教師が目を通し、肯定的評価を行う。特に発表するのが苦手な児童には原案プリントに助言を加える。 ・計画委員会の打ち合わせでは、活動を行う上で、自分の役割を果たせるように児童に本時の流れを確認させる。 ・児童の様子を見守り、必要に応じて進行や発言について助言する。 ・自分の言葉で意見を言えるように助言をする。	・話し合いの内容や提案理由を考えながら、自分の意見を持ち、話し合っている。 【思考・判断・実践】 (児童観察、ワークシートの自己評価、相互評価)
		・集会活動または、キャンペーン活動のまとめ(活動は未定)	1月24日 (火)	・見通しをもって活動に取り組んだり、役割や責任を果たしたりするよう助言し、活動を見守りながら必要に応じて声をかける。	・学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効果的な進め方について理解している。 【知識・理解】 (児童観察)
		・振り返り問題点を明らかにし、新たな活動目標を設定する。 ・振り返りをして新たな課題と意欲を持つ。	1月25日 (水) 帰りの会	・振り返りを通して成果が実感できるようにし、達成感が味わえるような評価を行う。	・みんなでよりよい学級をつくることの意義を理解している。 【知識・理解】 (アンケート)

7 本時の展開

(1) 本時のねらい

学級としての課題を理解し、解決の方法について話し合い、活動目標と達成するための取組を決定することができる。

(2) 準備物

実態調査結果「学級の良い点、課題となる点」（掲示用）

ワークシート（児童用）

(3) 本時の流れ

活動の流れ	指導上の留意点	評価規準
1 問題に気付く - アンケート（学年・学級目標の振り返り）結果から、学級の問題点を共有する。 - 学級の問題を焦点化し、活動目標を決める。	- アンケートの結果を拡大して掲示し、全体で確認できるようにする。 - 学級の良さに目を向けるとともに問題点に気付くことができるようにする。 - 全体の司会は教師が行う。 - 児童全員の共通の問題で、児童の手で解決できるもの、早い解決が望まれるものという視点で意見を出し合えるようにする。	学級の課題について話し合い、よりよい解決方法（取組）について考え、判断している。 【思考・判断・実践】 （児童観察・ワークシート）
2 活動目標を達成するための取組について考える。	活動目標を達成するためにどのような取組をしたらよいかについて、個人で考えをワークシートに書くことができるようにする。その後、生活班（小集団）で意見交流させる。生活班で話し合ったことは大きな紙に書かせ、全体で発表できるようにする。	
3 よりよい取組を決定する。	- 活動目標達成の取組としてどのようなものがよいかを決定できるようにする。 - 理由が言えた児童を評価し、みんなが納得できる取組になるよう方向付けをする。	
4 取組について自分の考えを持つ。	全体として話し合った取組をもとに自分として何ができるか、どのような活動をしていくか自分の考えをワークシートに書くことができるようにする。	